



明石の君と姫君

— 身のつたなさ —

明石で光源氏と出会い、姫君を授かりながらも、自身の身分の低さゆえに姫君を養女に出した明石の君。

光源氏の一人娘として育ち、入内した後、中宮にまで昇りつめた姫君。

今回はこの母娘について「身のつたなさ」をテーマにお話ししていただきます。

講師

信州大学教育学部長

信州大学学術研究院教育学系長

教授 田 一夫先生



【講師紹介】

筑波大学文芸・言語研究科博士課程を修了し、文学博士を取得される。

現在、信州大学教育学部長、同学術研究院教育学系長。

ご著書に『萬葉後期の狩りの歌一家持の「詠白大鷹歌」をめぐって』(笠間書院)、『「伝統的な言語文化」の指導―学習内容と学習活動の系統化をはかるために』(教育出版)などがある。



日時:令和8年2月28日(土) 午後2時~4時

場 所: 中野市立図書館2階A Vホール

定 員: 70名

参加費: 無料

申込受付開始:1月28日(水)午前9時

申込方法:チラシに付いている参加申込書をご記入いただき、中野市立図書館のカウンターへお申し込みください。電話(FAX可)でも受け付けます。
定員になり次第、締め切らせていただきます。

※参加申込書の情報は、図書館文学講座及び中野市立図書館における講座の開催案内以外には使用しません。

問い合わせ先 中野市立図書館

電話 0269-26-5841

FAX 0269-23-2885

-----キリトリ線-----

令和7年度図書館古典文学講座 「明石の君と姫君ー身のつたなさー」 参加申込書

お名前		お電話番号	—	—
ご住所	〒			